

長崎留学生支援センター

事業名	長崎市民と長崎地域の大学等の新入留学生、日本人学生に対する平和学習及びバスハイク					
実施期間	平成26年6月7日・平成26年11月8日					
場 所	長崎平和会館・長崎大学 中部講堂					
参加者	外国人留学生	地域住民	日本人学生	スタッフ	関係者	合計
	436	10	33	20	34	533 名

＜実施内容＞

(午前)
各大学→長崎平和会館(6.7)長崎大学(11.8)
(被爆体験講話、意見交換)
(新入留学生、日本人学生、長崎市民)
昼食
(午後)
・A班 長崎歴史文化博物館→平和公園・原爆落下中心地→長崎原爆資料館→各大学
・B班 平和公園・原爆落下中心地→長崎原爆資料館→長崎歴史文化博物館→各大学
(新入留学生、日本人学生)
平成26年6月7日、11月8日の2回実施



被爆講話を聴く学生(長崎大学中部講堂)



長崎平和大学参加者来場受付



長崎市紹介DVDを見る参加者



平和案内人に従って、言語別に班分けする学生



平和案内人の説明を聴く学生

『公益財団法人中島記念国際交流財団助成』

(独)日本学生支援機構実施事業

長崎平和大学を開催しました

長崎平和大学は長崎県民と長崎地域の新た入留学生、日本人学生に対する平和学習及びバスハイクです。本事業は公益財団法人中島記念国際交流財団助成を受けて、平成21年度から年2回実施しています。今年6月7日と11月8日で実施し、日本を含む29カ国・地域からの学生469名の参加がありました。

今回(11月8日)は第12回を迎え、午前中に長崎大学中部講堂で被爆者の計屋道夫さんをお迎えして、ご家族とご自身の被爆体験や、原爆投下後の人々や町の様子について写真を見ながら、お話を聞きました。またアメリカ、中国からの留学生より、平和のためにどのような活動をしていますかという質問や平和学習の大切さを学んだという意見が出ました。

午後は平和案内人(ボランティアガイド)の説明を受けながら長崎平和公園、原爆落下中心地等の被爆遺構を巡り、原爆の悲惨さや平和の大切さを実感しました。その後、長崎原爆資料館、長崎歴史文化博物館を見学しました。長崎歴史文化博物館では、江戸時代の奉行所を再現した時代劇を見るなど、長崎の文化・歴史について学びました。

長崎平和大学に参加した学生たちは、長崎のことや平和の大切さを学ぶ良い機会になった、今後もこのような活動を続けてほしいと語っていました。

<参加者からのコメント>

留学生(中国)

今回のアクティビティに参加して、原爆の惨状を目にして、心に深く感じました。国籍身分に関係なく、多くの人が犠牲になりました。私達は戦争を断絶し、世界平和に対してもっと貢献するべきだと思います。

留学生(アメリカ)(NHKのインタビュー時の感想)

被爆者の話を聞いて、心を強く動かされました。(核廃絶に向け)アメリカ人として、前に出ないといけません。今日の話を中心に刻んで周りに伝えなければなりません。